

令和8年用乾燥秘伝(青大豆)病害虫防除基準

※乾燥秘伝（大豆）とえだまめでは、農薬は同じでも使用方法、時期が異なる場合がある。
※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

発行：JAさがえ西村山会
さがえ西村山野菜振興協議会

病害虫 重点防除	時 期	は 種 前	開 花 7 日 後	開 花 20 日 後	開 花 30 日 後
	殺虫・殺菌剤	クルーザー FS30 クルーザー MAXX のいずれかを塗沫処理する。	トレボン粉剤 D L トレボン乳剤 のいずれか	スミチオン乳剤 スタークル粉剤 D L のいずれか	スミトップM粉剤

【病害虫防治】

作業	R A C コード	薬剤名	使用方法				対象病害虫									注意事項
			倍率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	紫斑病	タネバエ	フタスジヒメハムシ	アブラムシ類	カメムシ類	ハスモンヨトウ	マメシングイガ	ダイズサヤタマバエ	ネキリムシ類	
播種前	4 A 12 4	クルーザーMAX X	乾燥種子1kg当たり原液8ml塗沫処理			播種前	1回	●	●	●	●				●	●登録：ハト、キジバト、茎疫病、黒根腐病 ※紫斑粒を取り除く等、無病種子を使用する。 ※クルーザーMAX X、クルーザーFS30の他に薬剤を処理する際は、先にこれらを処理し、よく乾燥させてから使用する。 ※クルーザー剤の総使用回数は1回
	4 A	クルーザーFS30	乾燥種子1kg当たり原液6ml塗沫処理			播種前	1回		●	●	●				●	
	M 3	キヒゲンR-2 フロアブル	乾燥種子1kg当たり原液20ml塗沫処理			播種前	1回	●	●							●登録：苗立枯病 ※チウラム剤処理済みの種子にはキヒゲンR-2 フロアブルを使用しない。
	1 B	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a 作付前：全面土壤混和又は作条土壤混和する。 作物生育中：作条処理して軽く覆土する。			30日前	5回 ※生育期の処理は4回以内		●						※●	●登録：コガネムシ類幼虫 ※ネキリムシ類防除の場合は、土壤表面散布
		ネマキック粒剤	20kg/10a 全面処理土壤混和			播種前	1回									
	1 A	バイデータL粒剤④	30kg/10a 全面土壤混和			播種前	1回									●登録：ダイズシストセンチュウ 1. 連作を避ける。 2. 同じ薬剤の連用をしない。
は播種植前植前又			6kg/10a 作条土壤混和			播種前又は定植前	1回									
	播種時	カルホス微粒剤F④	6kg/10a 土壤表面散布土壤混和処理			播種時	2回以内	●								※ネキリムシ類の産卵を抑えるため、播種前から除草対策の徹底を図る。 ※タネバエの使用時期は「播種時」のみの登録のため注意する。 ※えだまめでは使用回数が1回
						播種時又は定植時									●	
			オルトラン水和剤			1,000倍	100~300ℓ	60日前	3回以内		●		●	●		※えだまめでは使用時期が収穫21日前まで
	生育期	スミチオン乳剤	1,000倍			100~300ℓ	21日前	4回以内			●	●		●	●	●登録：ウコンノメイガ、シロイチモジマダラメイガ
	1 B 1	スミトップM粉剤	4kg/10a 敷布			開花期～若莢期 但し21日前	4回以内	●			●		●	●	●	●登録：シロイチモジマダラメイガ ※えだまめには登録がない。
	3 A	トレボン乳剤	1,000倍	100~300ℓ	14日前	2回以内			●	●	●	●	●	●	●	●登録：ウコンノメイガ、シロイチモジマダラメイガ ※【合成ビレスロイド剤】（トレボン）の総使用回数は2回以内
	3 A	トレボン粉剤DL	4kg/10a 敷布			14日前	2回以内			●	●	●	●	●	●	●登録：シロイチモジマダラメイガ
	M 1	乙ボルドー	500倍	100~300ℓ	—	—	●									●登録：斑点細菌病、葉焼病
10 1	ゲッター水和剤	1,000倍	100~300ℓ	14日前	3回以内	●										
4 A	スタークル粉剤DL	3kg/10a 敷布			7日前	2回以内		●			●			●		
28	ヨーバルフロアブル	5,000倍	100~300ℓ	7日前	2回以内							●	●			●登録：ウコンノメイガ、コガネムシ類
28 15	ミネクトエクストラSC	10,000倍	100~300ℓ	7日前	2回以内						●	●	●			

*農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。

成 分 名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考	成 分 名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考
エトフェンプロックス	3A	トレボン乳剤	2回以内	2回以内		チオファネートメチル	1B,1	スミトップM粉剤	4回以内	4回以内	種子への処理 1回以内
		トレボン粉剤DL	2回以内				10,1	ゲッター水和剤	3回以内		
M E P	1B	スミチオン乳剤	4回以内	4回以内		チアメトキサム	4A,12,4	クルーザー MAXX	1回	3回以内	は種子前の塗沫処理は合計 1回以内
	1B,1	スミトップM粉剤	4回以内				4A	クルーザー FS30	1回		